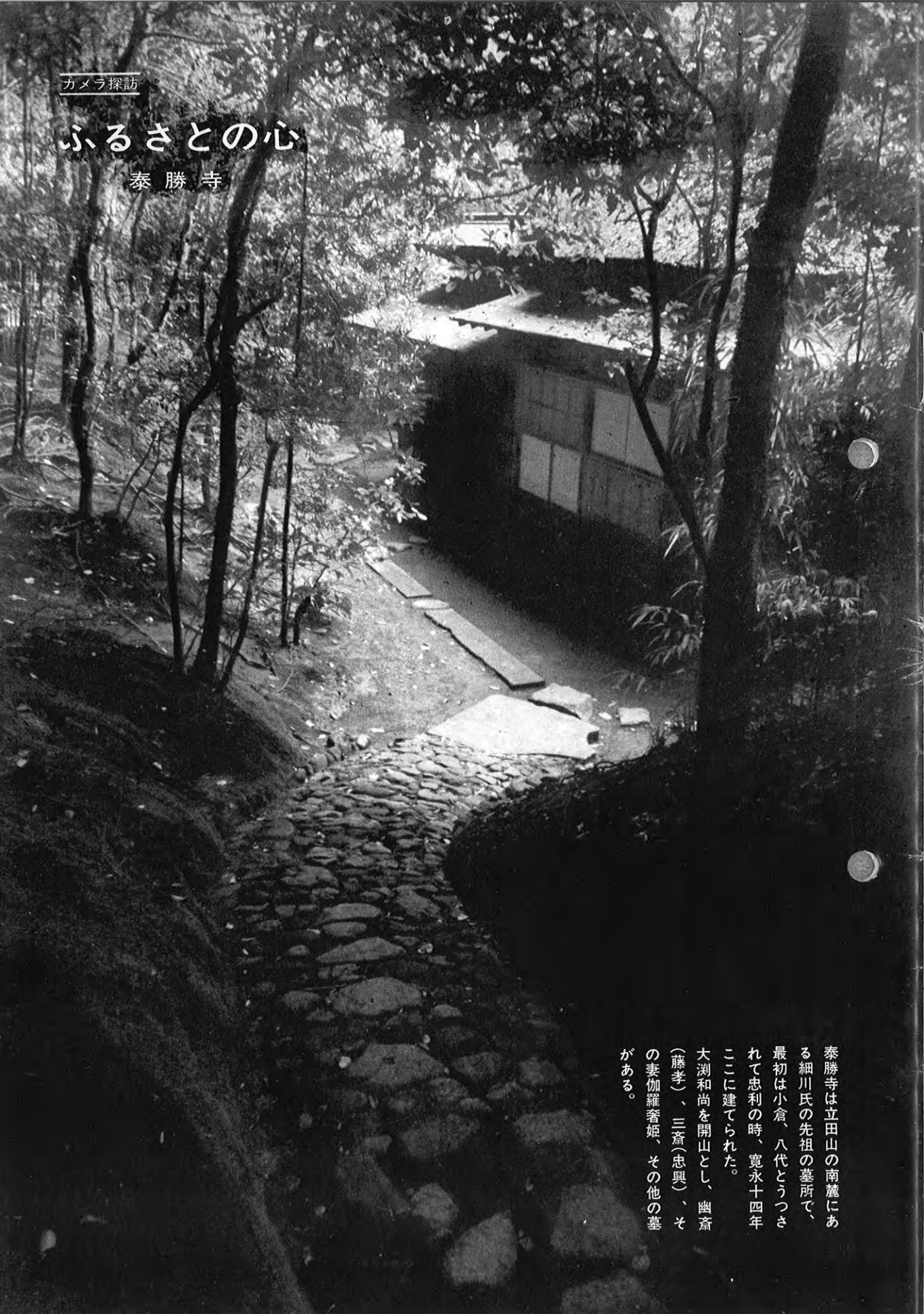


ふるさとの心

泰勝寺



ふるさとの通信

二十歳の青春

岩本裕子

「あなたは何の目的を持って生きているの」入社して間もない頃、先輩からそんなことを聞かれて答えに困ったことがありました。親の元で何の苦勞も知らずに育ってきた私には、ハッとするようなショックなことだったのです。

それから、もう一年半。一度しかない青春を悔いのないものにならなくてはと、友だちと励ましあいながら、仕事に、勉学に、遊びにと精出していきます。若い仲間が集まって、はしゃぎまわるところなどは、まだまだ子供っぽいのですが、それでも、学校や寮、会社の協同生活の中で、人間的に成長していくのを感じるころがあります。そんな時は、何かとても嬉しく、人生がすばらしいものに見えるのです。

ぼかんと空いた時間に、ふっと思い出すのはふるさとのこと。岐阜も落ついた美しい町ですが、夢は、緑豊かなふるさとへ帰って、へき地の子供たちと、共に希望を語ることに。その日がいつかくることを信じて頑張っています。

岐阜県羽島郡笠松町北及一

第一紡績勤務

昭和四十六年・玉名女子高校卒

泰勝寺は立田山の南麓にある細川氏の先祖の墓所で、最初は大倉、八代とうつされて忠利の時、寛永十四年ここに建てられた。大洲和尚を開山とし、幽齋(藤孝)、三齋(忠興)、その妻伽羅奢姫、その他の墓がある。